

# 奈良市ひとり親家庭等実態調査報告書 概要版

平成 24 年 3 月

## 【調査の概要】

### ◇調査の目的

市内の母子家庭、父子家庭、寡婦家庭（以下「ひとり親家庭等」という。）の生活状況等やニーズを把握し、母子及び寡婦福祉法第 12 条の規定に基づき、奈良市ひとり親家庭等自立促進計画策定のための基礎資料とし、ひとり親家庭の福祉において重点的に取り組むべき課題を明確化することを目的とする。

### ◇調査の方法

- ・調査対象者 児童扶養手当の受給資格対象者 など 4,349 件  
（母子家庭 3,900 世帯、父子家庭 133 世帯、寡婦家庭 316 世帯）
- ・調査基準日 平成 23 年 9 月 1 日
- ・調査方法 郵送配布・郵送回収（発送：9 月 22 日（木） 回収：10 月 12 日（水））
- ・回収数 1,305 票（うち、有効回収数 1,304 件、ひとり親家庭等 1,277 票）
- ・回収率 30.0%（うち、有効回収率 30.0%、ひとり親家庭等回収率 29.4%）

### ◇留意事項

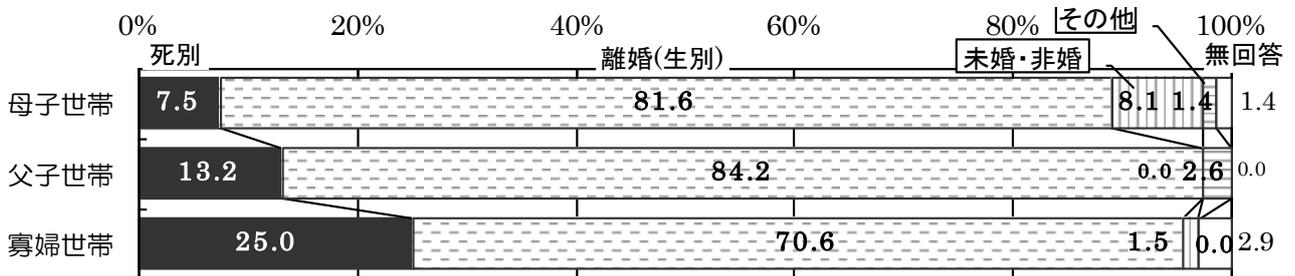
- ・集計結果は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入しており、回答比率の合計が 100%とならないことがある。
- ・%は、その質問の回答数（全体など）を母数として算出。
- ・複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が 100%を超える。
- ・MA%（Multiple Answer）＝回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択している。
- ・「全体」は回答数（1,277）であり、「該当数」は回答が限られた場合の合計である。
- ・グラフなどにおいて、長い文となる選択肢などは簡略化している。

## 【結果の概要】

### ◇世帯の状況（回答数＝1,304）



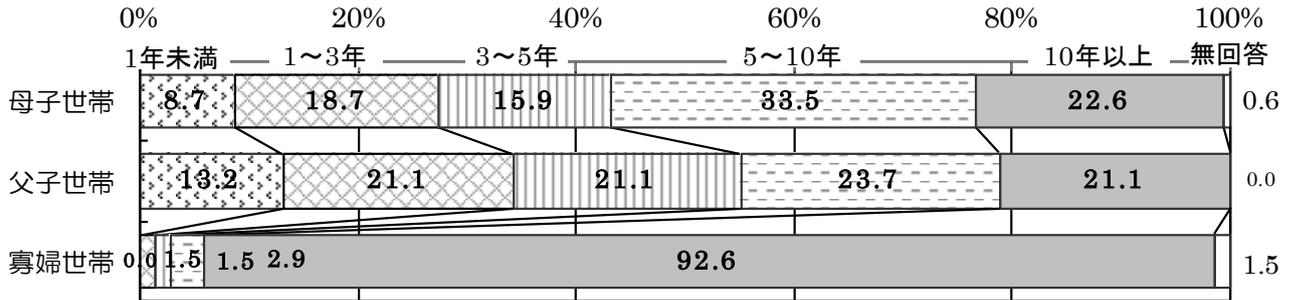
### ◇ひとり親になられた理由（回答数＝母子：1,171、父子：38、寡婦：68）



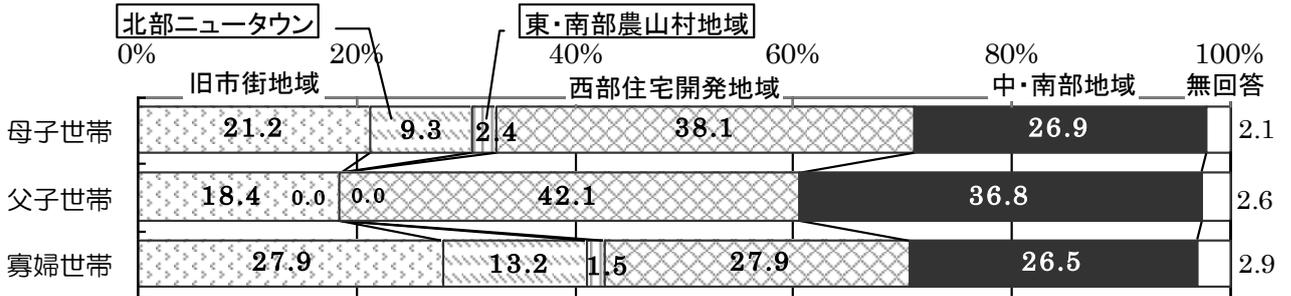
### ◇回答者の年齢（回答数＝母子：1,171、父子：38、寡婦：68）

年齢	24 歳以下	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～50 歳	50 歳以上
母子世帯	2.8%	6.0%	13.0%	22.5%	28.2%	19.0%	5.8%
父子世帯	0.0%	5.3%	7.9%	28.9%	18.4%	18.4%	21.1%
寡婦世帯	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.2%	85.3%

◇ひとり親になられてからの年数 (回答数=母子:1,171、父子:38、寡婦:68)

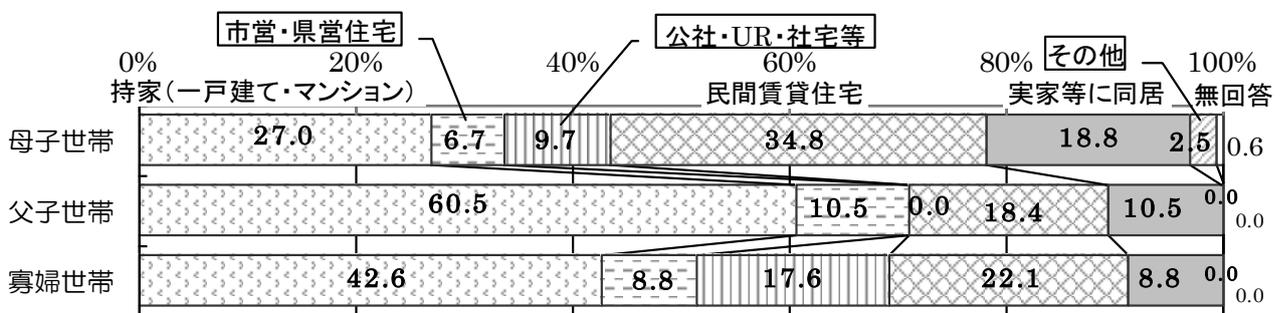


◇居住地域 (回答数=母子:1,171、父子:38、寡婦:68)

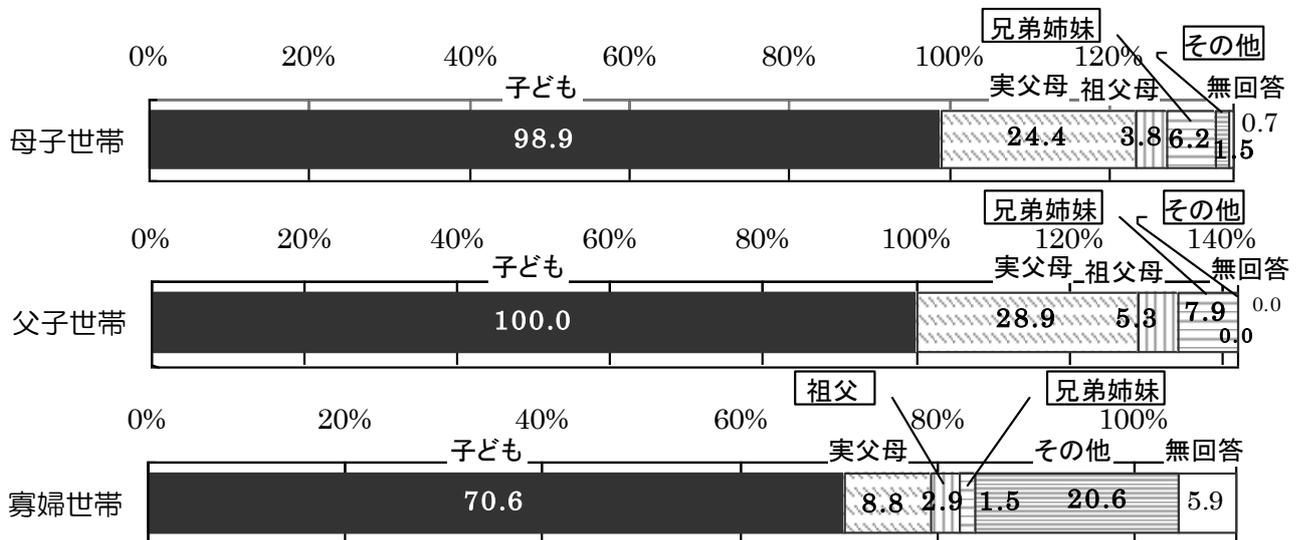


- ※旧市街地域……………椿井、飛鳥、鼓阪、済美、佐保、大宮
- 北部ニュータウン……右京、神功、朱雀、鼓阪北、佐保台、左京
- 東・南部農山村地域…精華、田原、柳生、興東、月ヶ瀬、並松、都祁、吐山、六郷
- 西部住宅開発地域……伏見、富雄南、富雄北、あやめ池、鶴舞、鳥見、登美ヶ丘、六条、青和、東登美ヶ丘、二名、西大寺北、富雄第三、平城西、三碓、伏見南
- 中・南部地域……………都跡、大安寺、東市、平城、辰市、明治、帯解、大安寺西、済美南、佐保川  
(地域区分は、「奈良市地域福祉活動計画」の地域類型に準じている。)

◇住まいの種類 (回答数=母子:1,171、父子:38、寡婦:68)

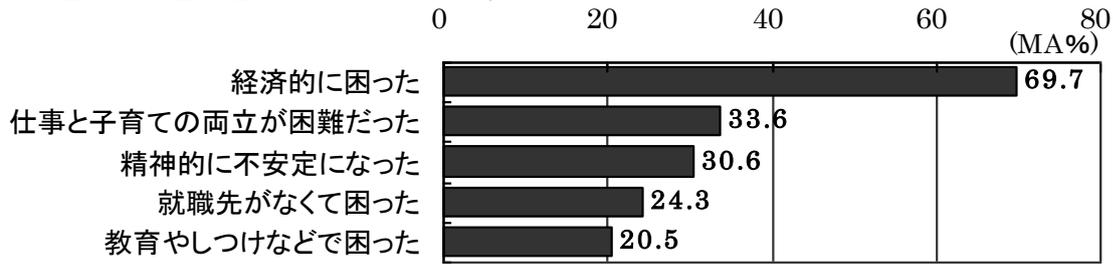


◇一緒に住んでいる方(複数回答、回答数=母子:1,171、父子:38、寡婦:68)



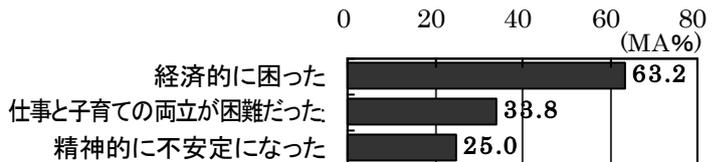
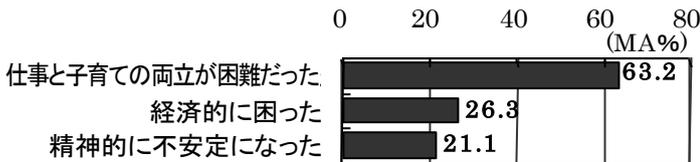
◇ひとり親になられた時に困ったこと（複数回答）

《母子世帯 上位5位まで》（回答数=1,171）



《父子世帯 上位3位まで》（回答数=38）

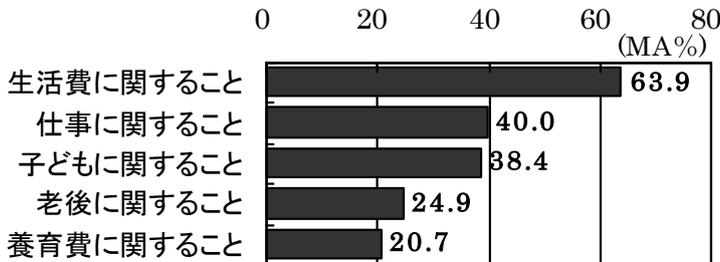
《寡婦世帯 上位3位まで》（回答数=68）



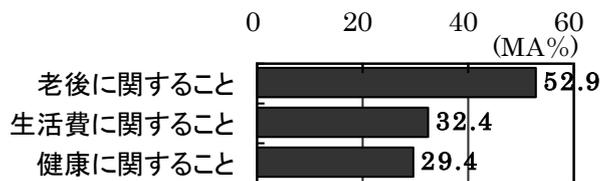
◇現在の生活に関して悩んでいること（複数回答）

《母子世帯 上位5位まで》（回答数=1,171）

《父子世帯 上位3位まで》（回答数=38）



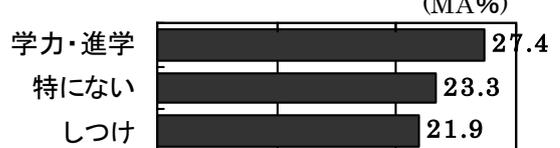
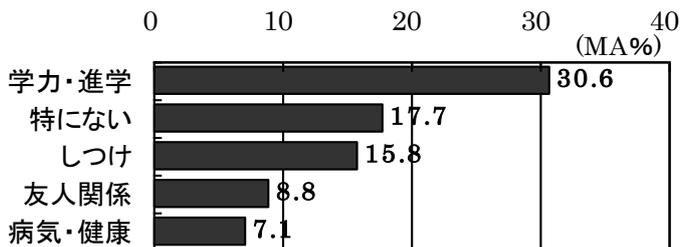
《寡婦世帯 上位3位まで》（回答数=68）



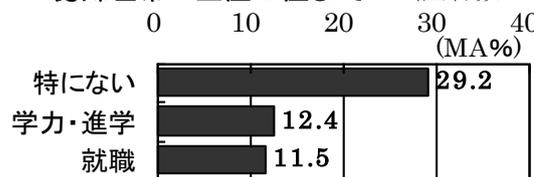
◇子どもに関して悩んでいること（複数回答）

《母子世帯 上位5位まで》（回答数=1,171）

《父子世帯 上位3位まで》（回答数=38）



《寡婦世帯 上位3位まで》（回答数=68）



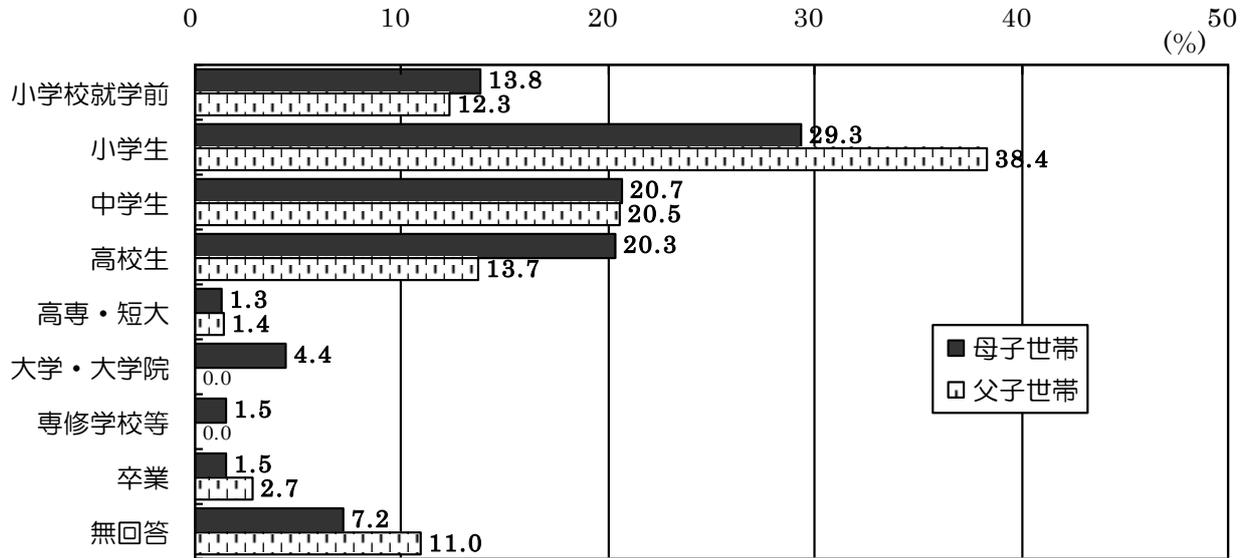
◇子どもの人数（回答数=母子：1,171、父子：38、寡婦：68）

人数	1人	2人	3人	4人	5人以上
母子世帯	46.8%	38.9%	13.2%	0.9%	0.3%
父子世帯	28.9%	50.0%	21.1%	0.0%	0.0%
寡婦世帯	45.6%	42.6%	11.8%	0.0%	0.0%

◇子どもの年齢 (回答数=母子：1,980、父子：73、寡婦：113)

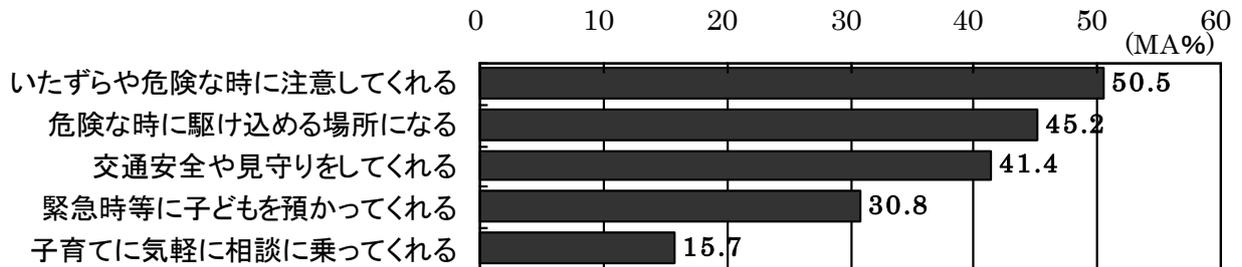
年齢	0～5歳	6～11歳	12～15歳	16～19歳	20～29歳	30歳以上
母子世帯	12.1%	27.8%	26.2%	23.7%	8.4%	0.1%
父子世帯	8.2%	37.0%	27.4%	19.2%	8.2%	0.0%
寡婦世帯					48.7%	47.8%

◇子どもの就学状況 (回答数=母子：1,980、父子：73)

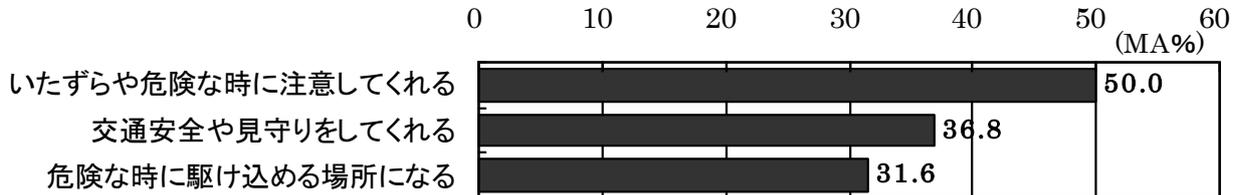


◇子育てや健全育成などで地域に望むこと (複数回答)

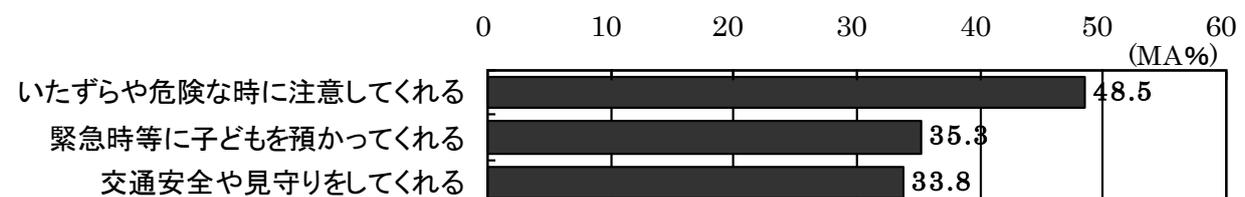
《母子世帯 上位5位まで》 (回答数=1,171)



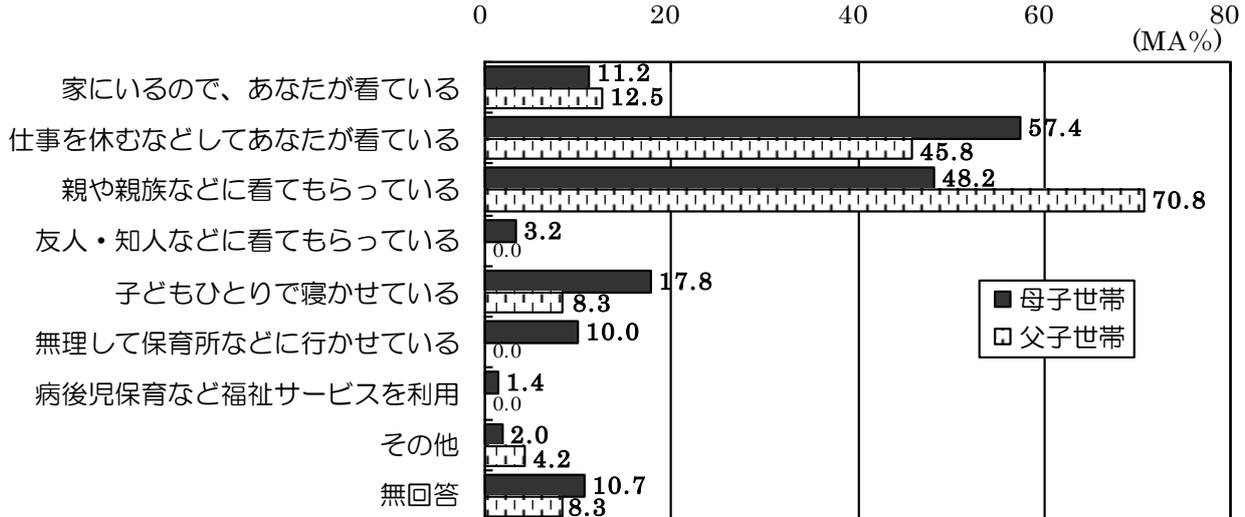
《父子世帯 上位3位まで》 (回答数=38)



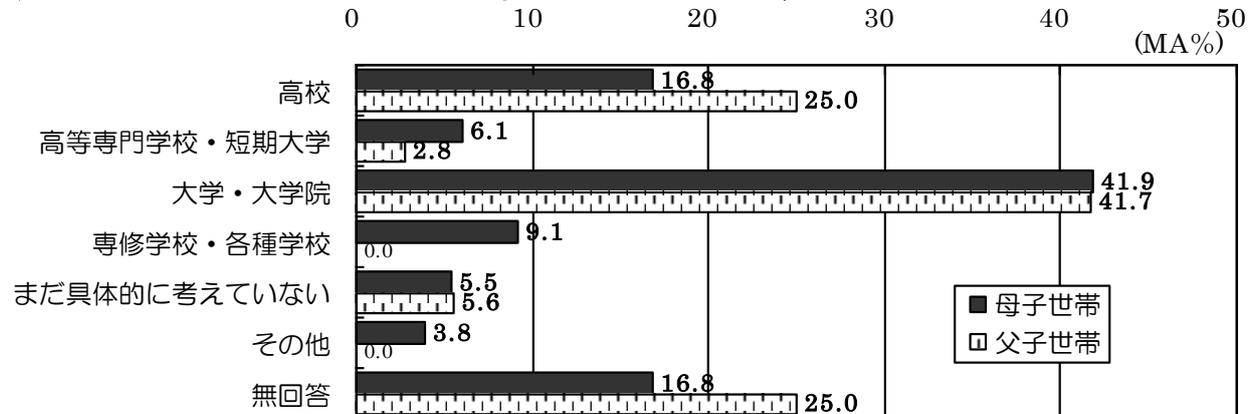
《寡婦世帯 上位3位まで》 (回答数=68)



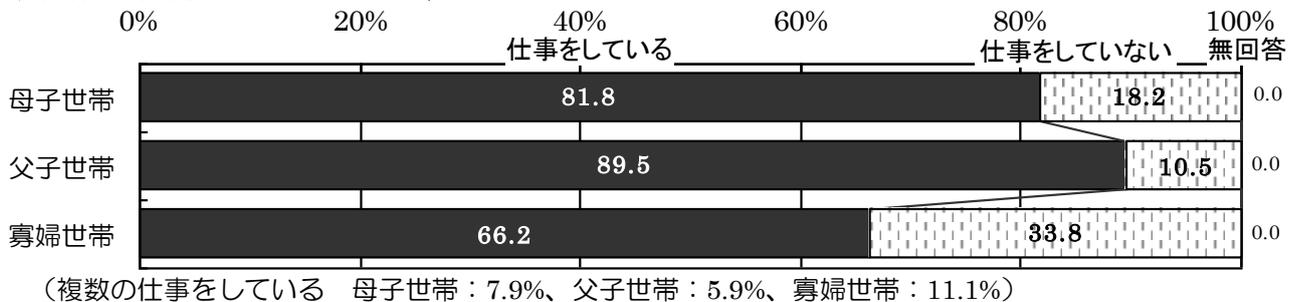
◇小学校就学前と小学生の子どもの病気時の対応（複数回答、回答数＝母子：653、父子：24）



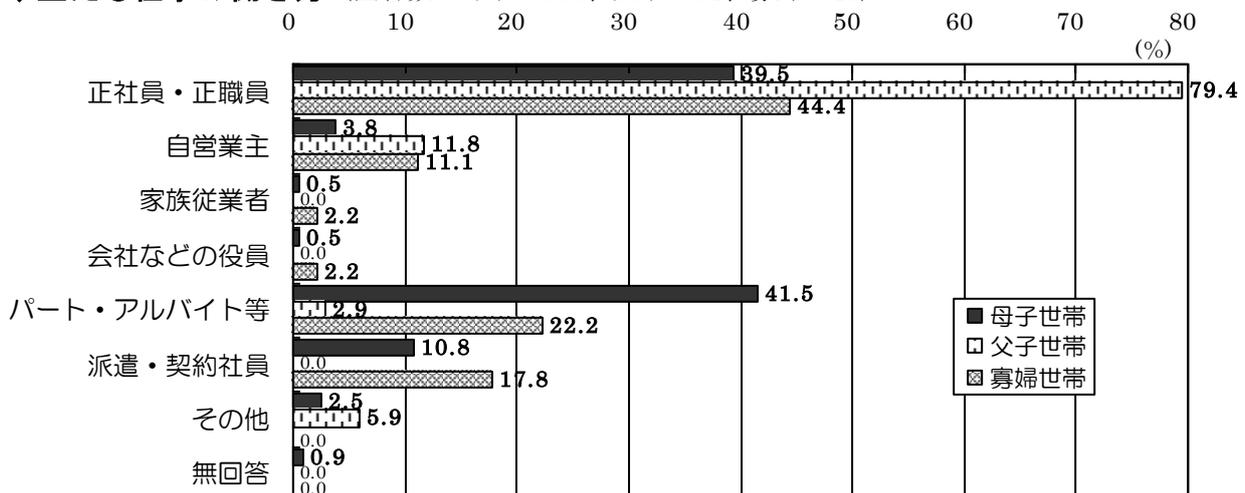
◇（中学生以上の子ども）進学希望（回答数＝母子：1,118、父子：36）



◇就業の状況（回答数＝母子：1,171、父子：38、寡婦：68）

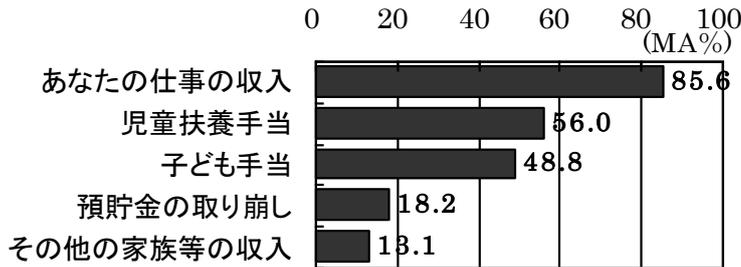


◇主たる仕事の働き方（回答数＝母子：958、父子：34、寡婦：45）

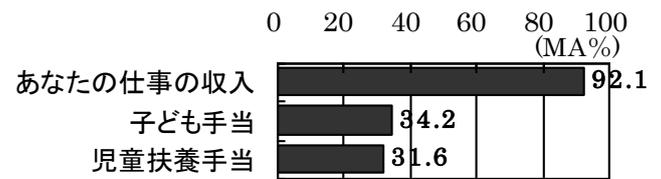


◇世帯の収入源（複数回答、回答数＝母子：1,171、父子：38、寡婦：68）

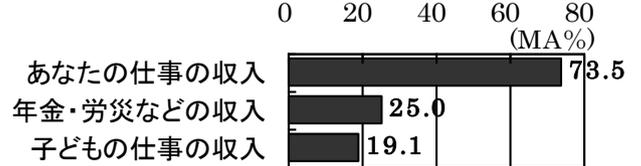
《母子世帯 上位5位まで》



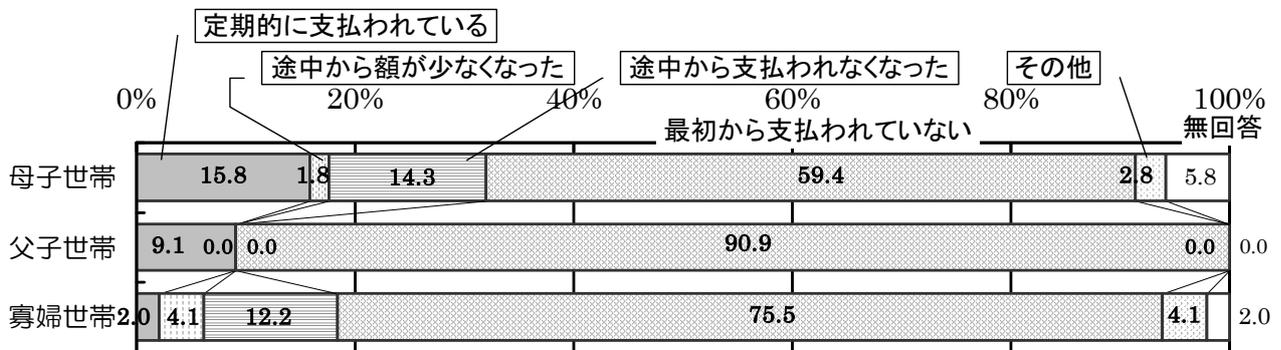
《父子世帯 上位3位まで》



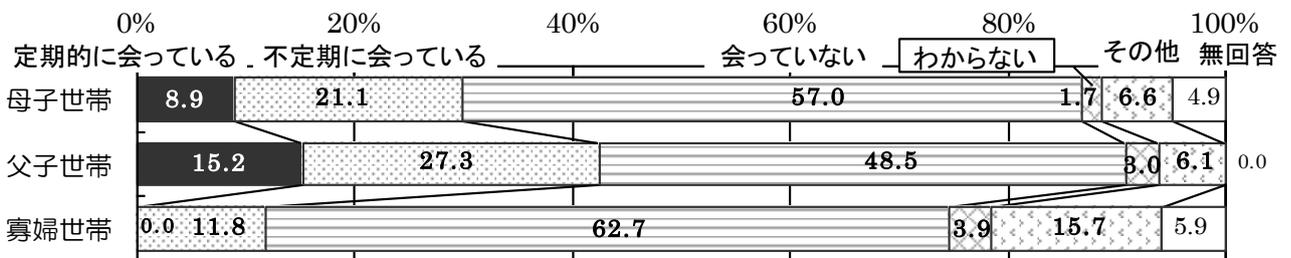
《寡婦世帯 上位3位まで》



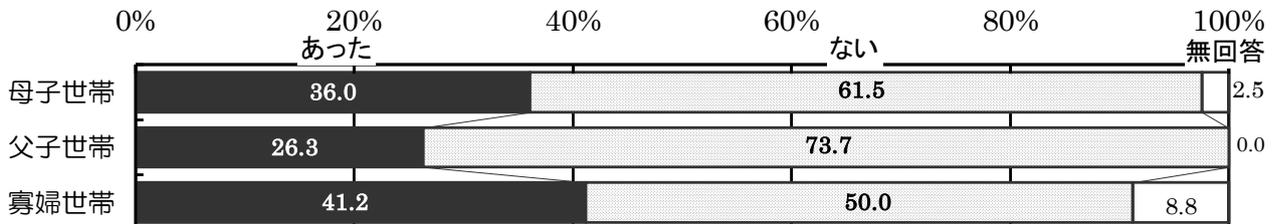
◇養育費の支払い状況（回答数＝母子：1,067、父子：33、寡婦：49）



◇別れた父親・母親との面会の状況（回答数＝母子：1,083、父子：33、寡婦：51）



◇差別や偏見などを受けた経験（回答数＝母子：1,171、父子：38、寡婦：68）



◆差別や偏見を受けた時（母子世帯のみ、複数回答、回答数＝422）

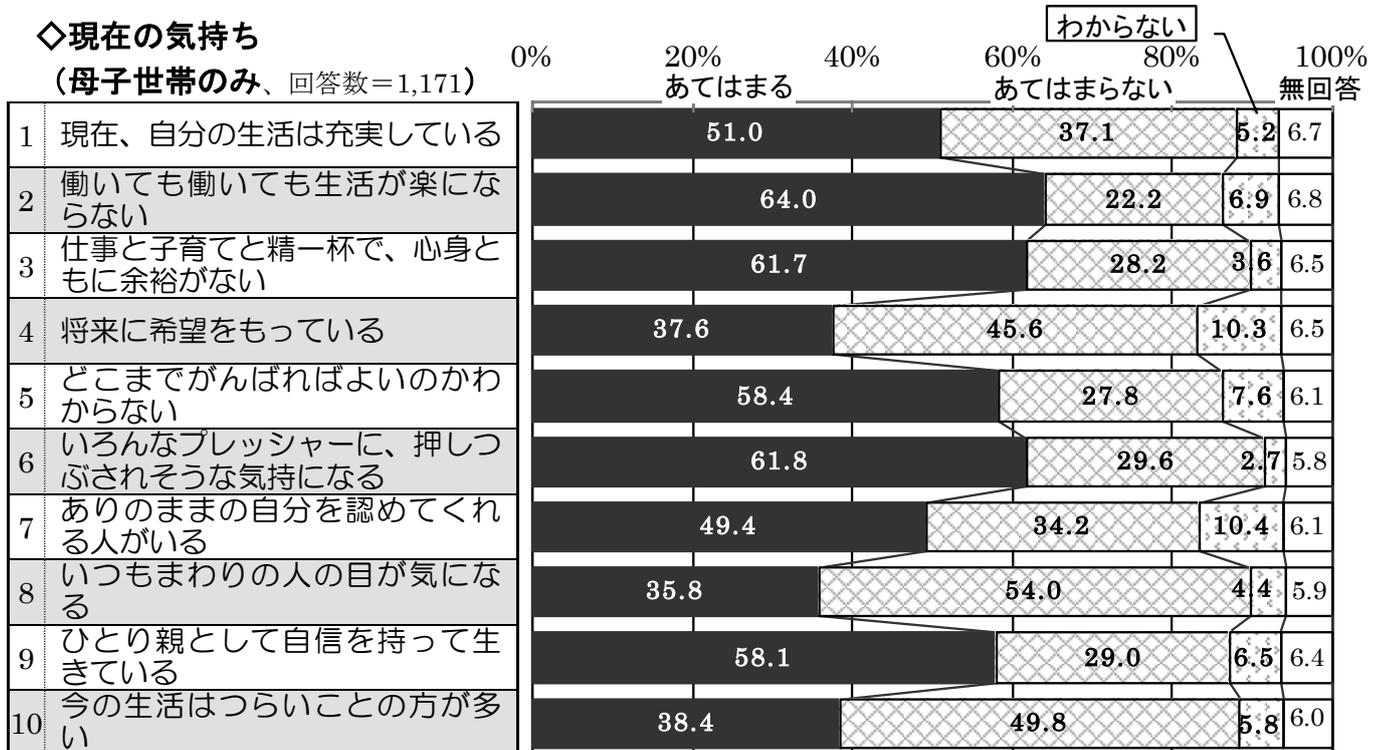
差別・偏見	第1位	%	第2位	%	第3位	%
母子世帯	となり近所のうわさ	29.1	就職する時	27.5	PTA活動などで	24.4

◇ひとり親世帯支援制度・事業の利用実績と評価（母子世帯のみ、回答数=1,171）

	利用した ことがない	利用した ことがある		(利用したことが ある人のうち) 利用して 良かった	
1	年金制度（遺族基礎年金等）	72.4%	9.9%	⇒	60.3%
2	子ども手当	10.9%	85.1%	⇒	57.0%
3	児童扶養手当	15.1%	81.9%	⇒	68.0%
4	ひとり親家庭等医療費助成	11.6%	81.5%	⇒	64.8%
5	母子・寡婦福祉資金貸付	84.0%	3.1%	⇒	80.6%
6	母子家庭自立支援教育訓練給付金事業	82.0%	4.2%	⇒	59.2%
7	母子家庭高等技能訓練促進費事業	83.1%	2.7%	⇒	87.5%
8	母子家庭等日常生活支援事業	85.6%	0.5%	⇒	50.0%
9	子育て短期支援事業	86.3%	0.9%	⇒	50.0%
10	母子家庭等就業・自立支援センター事業	81.6%	4.5%	⇒	47.2%
11	地域子育て支援センター・つどいの広場	83.3%	2.9%	⇒	38.2%
12	子育てサークル	82.4%	4.2%	⇒	30.6%
13	ファミリー・サポート・センター	82.8%	3.1%	⇒	47.2%
14	母子自立支援員	84.9%	1.1%	⇒	38.5%
15	民生委員・児童委員	80.1%	6.0%	⇒	15.7%
16	特別保育事業（延長、病後児など）	81.4%	4.3%	⇒	66.0%
17	バンビーホーム（放課後児童クラブ）	47.7%	42.1%	⇒	50.9%
18	家庭児童相談室	81.9%	3.9%	⇒	26.1%
19	母子生活支援施設	84.2%	2.0%	⇒	34.8%

◇現在の気持ち

（母子世帯のみ、回答数=1,171）



### ◇他のひとり親家庭の参考になりそうなことについての自由意見記述（一部抜粋）

- 借金をしてでも、若いうちに国家資格を取り就職すること。
- 子どもには親としての権限をもって子育てをしてほしい。
- 子どもの話に耳を傾けること。
- 子どもとの時間を大事にすること。
- 目標を持つこと。
- がんばりすぎず自然体で過ごすのが一番だ。
- 話し合える友だち、勇気をくれる知人、助けてくれる仲間を持つこと。
- ひとり親家庭だからという経済的な理由で将来を諦めてほしくない。
- 悩みを一人で抱え込まないで、応援してくれたり、見守ってはげましてくれる人を近くに確保すること。
- 子どもが大きくなるとお金が必要となるので、小さいうちに切りつめて貯めておくようにするべき。
- 母親が心を安定に保つこと。
- 広報をきちんと読むこと。
- 一人で子どもを育てるにはとにかく“ガメツサ”と“強さ”を持ってほしい。利用できる制度は利用する。
- 不安になったら「ポチポチいこう」を合い言葉にゆとりを持つこと。

### ◇自立した生活を営むのに必要な支援（複数回答）

支援策	第1位	%	第2位	%	第3位	%
母子世帯	経済的な支援	65.6	公営住宅への入居など	23.9	情報提供機能の充実	18.9
父子世帯	経済的な支援	63.2	子育てサービスの提供	23.7	相談受付機能の充実ほか	18.4
寡婦世帯	経済的な支援	44.1	相談受付機能の充実	26.5	貸付制度の充実	26.5

### ◇ひとり親家庭等の支援策に関する主な意見や要望（今後の課題等）

- ◆児童扶養手当・子ども手当などについて（収入・年齢制限の緩和、人数に応じた額 など）
- ◆窓口対応について（夜間・土日の開設、ワンストップ窓口、親身な対応 など）
- ◆教育・教育費について（進学資金・教育費援助、中学校での給食導入 など）
- ◆仕事紹介や就労就業支援について（就業の機会・あっせんの充実、企業への指導強化 など）
- ◆保育所・学童保育（求職中の入所、バンビーホームの充実 など）
- ◆医療費助成について（立替払いではなく定額または無料に など）
- ◆住宅支援について（公営住宅への優先入居、住宅・家賃補助 など）

ご意見、ご感想がありましたら、下記までお寄せください。

#### 奈良市ひとり親家庭等実態調査報告書 概要版

発行年 平成 24 年 3 月  
 発行 奈良市  
 （奈良市子ども未来部子育て相談課）  
 連絡先 〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目 1 番 1 号  
 電話 0742-34-4804（直通） FAX 0742-34-4817  
<http://www.city.nara.lg.jp>  
 E-mail [kosodatesoudan@city.nara.lg.jp](mailto:kosodatesoudan@city.nara.lg.jp)